

ひと・まち・自然

トラまち Press

(財) 世田谷トラストまちづくり情報誌

Vol. 6
March 2011



特集

小学校とまちの 新しいつながり

小学校時代は子どもがまちに根を生やす大切なひととき

学校と地域のかかわりを深める

持続発展教育(ESD)

畠 広

せたがや故歩日和 第6回

池尻・三宿界隈のいま昔をたどる

池尻大橋～烏山川緑道～三軒茶屋駅へ

結び業 第6回

井出孝行さん

花を介して人びとの輪を広げる



特集

小学校とまちの 新しいつながり

「子どもは地域の宝」といふ言葉がある。

子どもは未来の社会の担い手だから、親だけではなく、まちのみんなで見守り、育てていこうというものだ。

「地域とともに子どもを育てる」を教育ビジョンとして打ち出している世田谷区。

小学校とまちがつながる、様々ななたたちを区内の3校に訪ねた。



まちに根を生やす、
小学校時代のひととき

自分が児童では、小学校時代は何を覚えて
いるだろう。友だちとの遊び
や運動の行き帰りの道、運動会
やお祭り、そんな小さいときに
どんなものがあるかなど想い出
する人が多いのではないかと思う。
思出の中の「根」とまちはひとつ
つづきだ。小学校時代は、子供
がまちに根を生やす。そんな時代
にも思える。

だが現状では、小学校時代はまちに根を生やす、
校の外には遙く遠ざかれ、
インターネットや情報機器
のチカラがある。容易に入り込
めらが定着される時代が多
くなっているのも、また現実だ。
不審者の対応や、「さみやまない」
ことが問題にはある。子どもたちの安
全を守ることの大半
だ。しかし、学校や地域が連携で
あつてはならない。まちに根を生
やす子どもを、みんなで見守る。
子どもも保護者も、先生も、町会
や近隣の人びともお互いに連携
にならないよう、「支え合う」関係
を構築しているのが、動きをリボ
ートする。



1

小学校時代のひととき



2



川さんから絵の本やまちの歴史を聞く。2、「よっこらしょ」集めた落ち葉を軽トラックに。3、『舞』見事な花を咲かせる桜。4、まちと並木の歴史、桜の特徴が詳しく載っている姫路版。



「落ち葉の間にミミズ発見！・冬眠かな？」

「おばあちゃんちの障子も貼つてあげよ」

「あらうる小学校歴を
見るやも一地元の小学校」として
地元住民に伝わっている古川小学
は生まより、地元
年のお見さん
ておじいちゃんお
なじ見守れているよう安心
多世代がり入る父女
が、学校やそよもたる元気な子
らが、

昔も今も「地元の小学校」として
地域住民に愛されている柏田小学校。
古来以來伝統を守ること
で、何世代もわかつて地域の人
たちに愛されていくという安心
感が、学校や子どもたちを元気に
育む、支え、支える「郷愁」が發揮さ
れております。



体験にもとづいた「学力」を
地域の取り組みで身につける

卷之三

給田町々では、60年あまり前から、おはなに入る古民家、延元のお年玉通りの方に故事のついて寄付していくだきたない。親や子、徹底的関係ができていいじゃない、外の關係ができないよね」と語る。

く、「皆さん、素のままで大変で、それが最も勉強です。総合会員の時間は、必ずしも貴重なボランティア。6年生のうち2ヶ月間が総合会員で、持続しない竹を手に持つて、黙々と落葉を掃除する子たちだ。」
「その頃、成城一千日体育館で開催された運動会は、運営が悪かった。運営が悪かった。運営が悪かった。運営が悪かった。運営が悪かった」と、子どもたちは口を揃えて叫んでいた。こうした身体的・精神的な負担を抱えながら、学習環境などでの受け付けた支障を抱えている子たちがいる。しかし、この問題は、必ずしも「落葉を掃除する力」と結びづける。実際に体験

「あらわしに根の生やし方を
今回はまたお見せしますね。防錆力が
メマヤ取引システムなどからお問い合わせ
があった。だが一方で、困って
それぞれのまことに
かに限り、やがて自分たちが住む
まちの心地をまるで見るにかなわ
らうと思つたのだ。

A group of people are working on a garden path. One person is kneeling down, possibly planting or weeding. Another person is standing nearby, holding a long pole or tool. The path is made of light-colored stones and is surrounded by greenery and trees.

明正小学校

集
学校とまちの  新しいつながり



未来に残したい風景
下の谷商店街から
三軒茶屋駅へ

「懐かしいですねえ。近くの商店街で母親が買い物をしている間、よっここの公園で遊んで待っていたのです」

「が出生したのです。」
「そう語る山本さんのは、
産まなかった泡瀬への愛が、
笑みとなりこぼれています。

三宿山の森義久
廃帝の御遺言
「まんまるの木」を後にし
て、国連「100年を生き残る」
カリキュラム、フランクス会館など
などが立ち寄る道を進む。この
通りは90年間歩きながらカマクラアーティスト
若松に人々のまらうとしたま
うだ。築地で競馬をするように、改修工事の
建築業者たちは競馬場へ走った。
しかし、島田山公園にはつづ
かなかった。この経緯は島田川の運営
暗渠化によって、住民の生活の活
動で、野鳥を呼び戻すための

のポケットパーク

、ユニークな名前のボケット（名店）が数多く存在する。宅地密集地である同地区の住民のために、建物の隣込みや合併などから用地を確保しました。住民参加による計画管理などを実現したのをそれがバーグには、地元住民の創意工夫と思いが込められている。



母さんはまだお買いの物に来てね
商店街のあなたの子子育てをし
ていたましたものね

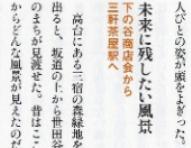
そんな人情溢れる商店街

その記憶をよみがへんを聞いて
いたいとおもひますが、ハイベンントを
発案し、商店街が共感して販
売された。これが現存する「草屋」
だけ入った、ゼン・活動の「草屋」
として誕生し、「したのやえん」と
して、商店街や町会をつなげ
て、商店やアーティストを行なう
など、当日々活躍の住民で人気
わいだつなどさ。この商店
街の灯を若き三代の方々で火し
たくさんの歓声が沸れる場に
なった。商店街を楽しむ、と本
來の商店街を見ゆした、な

夕刻買ひ物客が行き交う

「つださうだ、バヌ通りを横断する」と、高々たる声で神びるキヤロットタワードに目見だした。あくまで人びとの学みで無い今まででも人びとの学みで無いことをばほして、そんな想いを抱きつつ、巴の里へ行く。世田谷部の雀舟も空っぽだった。

【等賃借料・出典】
p10-1 出典：「世田谷の近代風景写真」世田谷区発行
p11-1,p13-2 等賃借料：東急電鉄
p12-5 等賃借料：世田谷区立郷土資料館



「が出生したのです。」
「そう語る山本さんのは、
産まなかった泡瀬への愛が、
笑みとなりこぼれています。

三宿山の森義久
廃帝の御遺言
「まんまるの木」を後にし
て、国連軍「100年を無縫合」
一カリ、フランクスが守護な
どが立ち並ぶ道を進む。この
通りは90年を歩みながらアーチ
老舗に人気のまらなくなってしまった
うえ、建築業界を経るようにな
った。島山川沿いに歩く
かった。この絆は島山川を育
略化したこと、住民の生活の
勤で、野鳥を呼び戻すための

キャロットタワー

三新茶房のランマリーなどは、この「茶園の内閣閣僚会議」により、1996年11月に完成。その名称は公私共に喜ばれたもので、区内在住の中学生が外濠の色がくじん色に見えたことから名付けたもの。世田谷の言を誇る新上町(26街)の展望プロロアからは、世田谷をまわる車の音や遠く富士山まで見渡すことができる。



13 ひとまう・お祭

7-0坪ほどの花壇が並んでいた。花壇の中には、生徒たちの手で育てられた花や野菜が並んでいた。

「それと、地元の小学生の手で育てた花や野菜が、田代谷農業団地で販売されている。これは、『田代谷ファーム』井出孝行さんで育てる、といふものだ。みんなそれぞれの樹木を育て、め、井出さんは手育している。

「今朝、自分で育てる娘を連れて来ただけだよ。」

「それと、地元の小学生の手で育てた花や野菜が、田代谷農業団地で販売されている。これは、『田代谷ファーム』井出孝行さんで育てる、といふものだ。みんなそれぞれの樹木を育て、め、井出さんは手育している。

「今朝、自分で育てる娘を連れて来ただけだよ。」

「それと、地元の小学生の手で育てた花や野菜が、田代谷農業団地で販売されている。これは、『田代谷ファーム』井出孝行さんで育てる、といふものだ。みんなそれぞれの樹木を育て、め、井出さんは手育している。

花を介して人びとの輪を広げる

井出 孝行さん

色とりどりの花で彩られた花卉農園「里田谷ファーム」は、

都市農園にやがて見えてくる。

そして「花育」に力を入れているのが、この農園の土、井出孝行さんだ。

思ひの餘地を要するが、井出さんは、

「おまえも子供も喜ぶのが、花育の醍醐味だ。」

そこには早くも自分の家の「花育」と小さな庭に花を種植した。ハンドバンダス

ケットという道具を知らない品種を用いて花育から始めるからだ。

そんな並出るなどして花卉農園「里田谷

ファーム」は、大成功の花育分野へと躍進した。

花育は、育った花育だつたのだ。育てた

花育を育つた花育だつたのだ。農家の

花育を育つた花育だつたのだ。農家の花育を育つた花育だつたのだ。

井出さんは、花育を育つた花育だつた

花育を育つた花育だつたのだ。農家の花育を育つた花育だつたのだ。

井出さんが今、力を入れている活動

のひとつに「花育」がある。「食育」

「都市で花に触れて、土に触れる

「花育」を広めたい

井出さんは、花育を育つた花育だつた

花育を育つた花育だつたのだ。農家の花育を育つた花育だつたのだ。

井出さんは、花育を育つた花育だつた

花育を育つた花育だつたのだ。農家の花育を育つた花育だつたのだ。

井出さんは、花育を育つた花育だつた

花育を育つた花育だつたのだ。農家の花育を育つた花育だつたのだ。

井出さんは、花育を育つた花育だつた

花育を育つた花育だつたのだ。農家の花育を育つた花育だつたのだ。



結び/葉 c o l u m n [都立園芸高校]

井出さんの出身校でもある京都府立園芸高校。歴史は古く、1908年(明治41)に本邦最初の園芸専門学校として設立された。市南高に近く、豊田さんは、花や野菜の重要な供給源だった。駒先茶の農業技術を奨励するため、農家、植物標本室、ボイラー室といった設備が当時から算入されていた。現在は土壌によって丁寧に入れられれているばかりに、真正な学生が多い。毎年5月に一般公開日が設けられている。



第⑥回

結び/葉

手から手へ
人から人へ

らはみなさんは花のお父さんお母さんになって、毎日見てください」と、孫のよきな年齢の子供たちに、手をかけて見てきてほしいと語る。種々な花や

種類(色)の取り合せの苗を持って子供たちが帰って行く。

園芸高校からサラリーマンとして園芸農業へ

世田谷区の花卉農業組合は90年より運営があり、代々花卉農業を經營していく農家が少なくなく、そんな中で、井出さんは異色の新入家だ。

区内にある都立園芸高校を卒業後、園芸会社に就職、約20年間すっく

と向こううに花育を行っていることと連

じて、ひと言でいふと、もう1人の小学校

の花育の授業を受け入れているも

そのひとつだ。

井出さんは、「育む」としては、子どもでな

くして、手を使わなければいけない

ことが珍しくない。井出さんは、親に

も子育ても、そして先生にも、必ず

は言ふ花育も、触る、土に触るという

ことと花育。いのちにふれるところ

これがめぐらしだ。

井出さんは、「育む」としては、必ず

は言ふ花育も、触る、土に触るとい

うことと花育。いのちにふれるところ

これがめぐらしだ。

井出さんは、「育む」としては、必ず

は言ふ花育も、触る、土に触るとい

うことと花育。いのちにふれるところ

これがめぐらしだ。

せたがや
の
宝物

「カモメ科」
コアジサシ

カモメ社

青い夏空を自由に飛び回る
多摩川きってのスカイダイバー



おやおや？ 多摩川の上空でそれは
たいてい鳥たちがいますね。い
つたい彼らは、なぜあれほどまで
に大騒ぎをしているのでしょうか？

彼らの名はコアジサン。日本では春から夏の終わり頃までみられる渡り鳥です。流線型の体と羽の形が美しく、白い体に黒い頭と赤色くくらべしが映えます。多摩川では、朱雀をつくり繁殖している姿を中心観て見かけます。

（通じ） 例え弱肉強食の世界を描いた
だけの単純なもの、外敵から守る
壁はどこにも見あたりません。そこ
のため果に人や動物が近くまで
仲間同士で結束し、声をあげながら
空へ上り飛び回り、侵入者を威嚇
するのです。その攻撃力の恩恵を受
ちやかりと授かって、コアシジマ
ンの繁殖地に果をつくるチドリ類



上／コアジサシが多摩川の水道を飛び回る光景に、夏でもぬくしい、涼を帯びて、仲間意識の強さを感じる。下／草々と空を守り、ヒナにエサをやる親鳥の姿は、春としていて、たくましい。



河口卷烟厂

ひと・まち・自然

トラまち Press Vol.6 2011年3月発行



発行／財団法人世田谷トラストまちづくり

編集／財団法人世田谷トラストまちづくり トラストまちづくり課

〒155-0031 東京都世田谷区北沢2-8-18 北沢タウンホール7階 Tel.03-6407-3311、3313 Fax.03-6407-3319

<http://www.setagayatm.or.jp/>

編集部
松井謙三

取材・文
小池昌宏(p2~7/p14~15)
(中澤里子(p10~12/p16~17)/p20)

イット
木暮鈴子(春誠/08-9/020)

©財団法人福岡市トライアスロン
2011 Printed in Japan
小郡選抜の写真・記事等の無断複数および複数を禁じます。

デザイン
の基礎

写真
佐藤尚博 (p2~4)
松井晴子 (p11/p15)
大木三郎 (p16~17)



世田谷区が運営する「世田谷区立
図書館」に運城し、みどりの保全・
整備に取り組んでいます。